

Book Review

自費診療のための ステップアップ審美修復

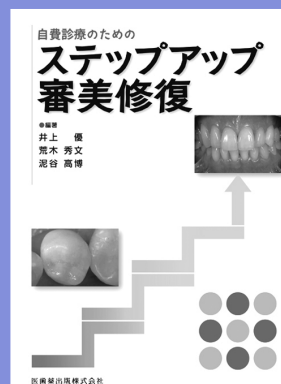
井上 優・荒木秀文・泥谷高博 編著



Reviewer

堤 春比古 Haruhiko Tsutsumi
(福岡県・つつみ歯科医院)

A4 判変, 120 頁
オールカラー
定価 (7,400 円+税)
医歯薬出版刊



ついに待望の第一巻完成

ステップアップ審美修復を読んだ。3人の著者のうち荒木、泥谷両氏はこの約20年間歯科臨床をともに学んできた同士である。その臨床の痕跡を示す第一ステップの書がようやく完成したな、と感じた。若き30代、九州の歯科臨床家諸先輩の後を追ひ、がむしゃらに進んできた。自分たちのやるべきことが見つかり、それを充実させてきた40代。そして気がつけば50代になり、それを後進へと伝える時期がやってきた。

この本はMI修復を審美の領域にまで引き上げるための、若い歯科医師への指南書第一巻である。

CR-The step for BR and AR

われわれ昭和最後の卒業組が、臨床に目覚め、各種の勉強会に参加しはじめたころ、まず最初にあてがわれた発表のテーマはコンポジットレジン修復もしくはインレー修復であった。当時、われわれ3人(泥谷、荒木と私)も、遠くサンディエゴのAACDに参加し、新進気鋭のパスカル・マニエ氏のプレゼンテーションや、CR審美修復のハ

ンズオンコース等を受講し、強い刺激を受け帰国したことを覚えている。

このころより、コンポジットレジン修復(Composit resin Restoration)はエナメル質、象牙質への接着の飛躍的な発展や充填材料の向上によって、接着修復(Bonded Restoration)としてだけでなく、審美修復(Aesthetic Restoration)としての地位を確立していった。

今回発刊された「自費診療のためのステップアップ審美修復」は、著者らの20年にわたって積み重ねられてきた経験値としての充填学に、接着科学、色相学、さらには経営学の要素まで盛り込まれ、審美修復を成功に導く学問体系としてまとめられている。

よく機能するものは美しい

本書にはマイクロスコープ画像を含めた多彩な症例がちりばめられている。症例の診断法から、コンサルテーション、各種の充填スキル・インストルメントに至るまで、まさに一段一段、階段をのぼるようについていねいに解説が施されている。

つまり、MI修復をただ単に機能の

回復だけでなく、審美の領域に引き上げるノウハウが詰め込まれている。

若き歯科医師の悩み

義歯・インプラント・マイクロエンドなど、若き歯科医師の周りには情報があふれ、なすべきことが山積している。これらのことの優先順位・採算性や効率を考えて、どれから手をつけるか悩み、混乱したり、立ち止まったりしている若手臨床医も多いのではないだろうか？

診療室に必ずある各種の道具からでも最初のステップを始められるCR審美修復は、若い歯科医師に「悩んで立ち止まることなく、まずできることから始めよう」という若き歯科医師への大きな指針を与えてくれるであろう。

本書を読み終えて、自信あふれるたくさん美しい拡大写真・わかりやすい図説・FAQ(よくあるクエスチョン)方式の構成など、3人の著者が若い歯科医師に向けて送る力強いメッセージを感じた。そして、そのメッセージを彼らはこれからも次々に発信し続けてくれることであろう。